

25.7.15
宮日

水生生物にびつくり

児童ら水流川の生息調査

宮崎市福島町

宮崎市の大塚地域まちづく
り推進委員会（渡部紀南委員
長）は14日、同市福島町を流
れる水流川でクリーンアップ
活動を実施した。児童や地域
住民ら約50人が参加。生き物
の生息調査やごみ拾いを通
し、身近な水辺環境を守るこ
との大切さを学んだ。

宮崎土木事務所職員指導

を受けた同市の江南小5年生
20人が川から水をくみ、透明
度やおいを確認した。網を
手にして川に入り、川底の石
をひっくり返すなどして水生
生物を約1時間かけて収集。
メダカや手長エビ、モスクガ
二などの水生生物を捕まえて
歓声を上げていた。参加者全
員で空き缶などを拾う清掃活

動も行った。
原希美さん（11）は「魚やカ
ニなどいろんな種類の生き物
がいてびっくりした」、松元
貴徳君（10）は「小さなフナを
捕まえた。近くにある川をき
れいにすることは大事だと思
う」と話していた。



水流川でメダカやエビなどの水生
生物を採取する児童

活動は国交省と県が護岸工
事などを行う水流川再生事業
に併せて2年前から実施。年
度内に2回の調査を行い、年
明けに県などが実施する「身
近な水辺のモニター報告会」
で調査結果を発表する。

（報道部・小谷実）